



人にも猫にも

猫新聞

郵便振込口座
00830-2-204941 Go!Cats
<http://go-cats.main.jp/index.html>

ゴーキャツは浜松市を中心に、飼猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています

里親探し奮戦記

保護した2匹の猫の「幸せ探し」をした方から届いた感動のドキュメンタリー！！
譲渡会参加37回は、Go!Catsの断トツ最多記録です。

はじめは2013年3月2日

夜中にいつまでも続く猫の鳴き声が気になり外に出てみると、屋根の上でウロウロしている猫発見。とりあえず、脚立に乗って抱き降ろし、寝場所を用意してやらなきゃとウロウロしていると、更に視界の隅を何やら白い物体が横切り縁の下に・・・

天から降ってきたかのように全く突然あらわれた2匹の猫。

薄汚れてかなり痩せてはいましたが、人に慣れていて逃げようとしません。「ある日」までは「どこか」で一緒に飼われていたのでしょうか。とりあえず「ドビ」「エン」と名付けました。

これまで、口にできるものは何でも食べてきたようで、下痢こそしないもののワケのわからないウンチが1か月以上続きました。

病院に相談したりもしましたが、当猫たちは私の心配をよそに、まるで底なしのように食べまくる日々。

やせっぽっちだった兄弟は、みるみるうちに6kg超のデブ猫に大変身していました。健康を回復したら、今度は里親探しです。まずはとにかく毎週譲る会へ参加することにしました。

合計体重12kgの2匹を連れて、会場の階段の昇り降りはなかなかの重労働(笑)です。交代で運んでもらったり、時には台車を貸してもらったりいつも皆さんに助けられました。

しかし皆勤賞もので譲る会に参加はしたものの、会場の雰囲気になじめないのか、いつまでたってもケージの奥に2匹でへばりつき、大きな体をフリースの中に潜り込ませてしまう始末です。おまけに夏の譲渡会は子猫てんこ盛り。子猫の可愛さには到底勝てるはずもなく、「わー大きい」「すごーい」と冷やかしの声は掛けられることがあっても「抱っこさせてください」と声を掛けられることはまったくなく、春も夏も秋も過ぎてゆきました。

それでも諦めずに参加し続けた譲渡会。

去年最後の12月29日。それも、臨時で開かれた譲渡会の終了間際という時に運命の出会いが突然やってきました。なんと「この子を抱っこさせて下さい」とドビに初めて声が掛かったのです。身体が丈夫！長いお留守番OK！手が掛からない！ドビです。話はトントン拍子で進みすんなりステイに入りました。

が、放浪生活から、ずーっと一緒だったエンと離れて1匹だけの暮らしはとても寂しく辛いものだったようです。フードも食わず、鳴きもせず、目を三角にしよぼつかせ・・・、とうとう蹲るばかりになってしまったのです。これはダメかもと私は意気消沈でしたが、なんと、里親さんは、飼うことを諦めるどころか、ドビのためにと大福のようなエンも迎えてくださったのです。

今は長いお留守番も2匹でおとなしくしていて、学校から帰ってきた子供さんに暖かいね～と抱っこして遊んで可愛がってもらっています。

保護してから11か月、譲渡会参加37回。あきらめず、あせらずドビエンと頑張り続けた330日でしたが、多くの皆さんに助けられました。ありがとうございました！

by とっこ



2013年活動報告・収支報告

活動報告

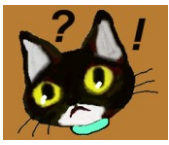
のら猫の不妊手術助成: 動物病院に御協力をいただきながら146匹(メス93匹、オス53匹)の猫の避妊・去勢手術に助成金をだすことができました。捨て猫やのら猫の被害など「猫問題」の解決には不妊手術が何よりも大切。これからも手術の必要性を多くの方に呼びかけていこうと思っています

猫の譲渡: 106匹の猫たちを温かいご家庭に送り届けることができました。私たちが保護するのはそのまま放置すれば死んでしまったかも知れない猫ばかりです。皆様のお陰でたくさんの猫が幸せになりました。御礼申し上げます。

パネル展: 昨年は13回のパネル展で408,844円の募金をいただき、全額を手術の助成金や治療費として使わせていただきました。

収支報告

収入: 寄付、募金など	1,338,555
支出:	1,634,625
	△296,070
支出内訳:	
不妊手術助成金及び手術代	738,664
保護した猫の治療費	510,366
フード代	204,570
譲る会、パネル展運営費	128,130
被災動物支援	52,895



キャットQ&A

Q：浜松市在住です。車にはねられたのでしょうか、道路で猫が死んでいました。こういう時はどうしたら良いですか

A：お住まいの浜松市を例にとってご説明しますと、路上で死亡している犬や猫は（タヌキなども）、連絡ごみ受付センター（053-453-2288 全市共通）か、各区のまちづくり推進課に電話をすれば、委託された業者さんが出向いて収容し、市の斎場に運んでくれます。

道路際に寄せておくことができれば、何度もひかれずにすみますが、車の通りが激しい場所では危険です。上記担当部署に電話をして、動物の種類、正確な場所、あなたのお名前や電話番号（業者さんが発見できない場合、問い合わせの電話がかかることがあります）などを伝えて下さい。

畑や敷地の中などで見つけた場合も、飼い猫でなければ対応してくれますし、土、日、祝日などは浜松市役所の守衛室に連絡すれば業者さんに回収を依頼してくれます。

もし、ご自分で動けるのであれば、中沢町の斎場会館に運んでください（無料、友引は休み）。

浜松以外の市町村でも必ず担当の部署があります。ホームページなどで連絡先を調べて携帯に登録しておく、とっさの時役に立ちます。

飼い猫にも、外で暮らす猫にも

不妊手術のススメ！！

公園や庭先でエサを与えているネコたち、避妊・去勢手術はもう済んでいますか？

餓死したり、動物管理センターで殺処分されるような不幸な仔猫を産ませないために、是非今のうちに不妊手術を受けさせてください。ネコが増えて嫌われたり邪魔者扱いされたら、あなたのやさしさが逆にネコを苦しめたり、死に追いやったりすることになってしまいます。手術費用の捻出は大変かも知れませんが、寄せられる苦情、ご近所への迷惑、増えるエサ代、里親探しの苦勞、精神的な負担等を考えたらやはり「産ませないこと、増やさないこと」がベストの選択になるのではないのでしょうか。

Go! Catsは皆様からのご寄付や募金を基金として、飼い主がいない猫の避妊・去勢手術に助成金をお出ししています。

協力してくださる病院もご紹介しますし、捕獲の方法などもアドバイス致します。

まずは事務局にお問い合わせください（キャンペーン期間中は、メス 6000 円、オス 5000 円くらいで手術をすることができますので、ご近所やお知り合いでノラ猫の手術をお考えの方がいらしたら、このキャンペーンのことお話しください）



「小さな命について考えるパネル展」

日時：毎月第4土曜日(11:00~17:00)

場所：遠鉄百貨店正面玄関前(雨天中止)

殺処分のこと、捨てられた犬や猫のこと、動物実験のこと、パネルを通して動物たちが置かれている現実を見つめてください。

どうぞおでかけください！

※譲る会もパネル展も場所や日時を変更することがあります。

「みんな幸せになってほしい！」と願って開く

「仔猫・若猫譲る会」

第1日曜日:ペット愛ランド早出町店(11:00~15:00)

第2土曜日:熊平動物病院(半田山 12:30~15:30)

第3日曜日:ペット愛ランド志都呂店(11:00~15:00)

第4日曜日:西山会館(西山町 13:00~16:00)

元気でかわいい猫たちがたくさん参加します。

